

2) 魅力と活力ある農山漁村地域の振興と脱炭素社会への貢献

(1) 環境に配慮した持続可能な農林水産業の促進

農地の勾配修正、グリーンベルトの設置、暗渠の設置、沈砂池・排水路の整備等により、農地からの赤土等流出を抑制する。

事業名 ◆ 水質保全対策事業（赤土流出防止型）（交）

■ 水質保全対策事業（耕土流出防止型）

水質保全対策事業（耕土流出防止型）は、農地及びその周辺の土地の土壌流出を防止し、農村の環境保全に資することを目的に平成5年度から開始された事業である。



- | | |
|------------|---|
| ① 勾配抑制 | ：農地からの土壌流出を低減させるため、勾配を抑制する。 |
| ② グリーンベルト | ：農地からの土壌流出を低減させるため、ほ場端を植生する。 |
| ③ 畦畔工 | ：農地からの土壌流出を低減させるため、ほ場内に畦を造成する。 |
| ④ 土砂ためマス | ：承水路に流入した土砂を沈殿させて捕捉するためのマス。 |
| ⑤ のり面保護 | ：農地又はその背後地の法面からの土壌流出を防止するため、法面を保護する。 |
| ⑥ 沈砂池 | ：流入した濁水を池内で貯留させ、土砂等を除去するための施設。 |
| ⑦ 排水路(排水路) | ：農地又はその背後地からの流水を除去施設に導くための水路。 |
| ⑧ 路面保護 | ：侵食している砂利道路をアスファルト等で舗装する。 |
| 土層改良工 | ：有機質(堆肥)等を表土に投入・攪拌することで、表土の団粒化を促進させ、農地の浸透能力を増進させる。 |
| 暗渠排水工 | ：暗渠をほ場下に埋設することで、農地の浸透能力を増進させ、ほ場表面から流出する濁水を低減させる。 |
| 沈砂池の軽微な変更 | ：既存沈砂池に安全施設・機能向上等の軽微な変更を実施することで、既存施設の効果を継続させるとともに、維持管理の効率性を向上させる。 |



グリーンベルト



勾配抑制



沈砂池

水質保全対策事業（耕土流出防止型）の実施状況

（単位：地区、百万円）

事業名		全 体		令和6年度	令和7年度	令和8年度以降
		地区数	事業費	事業費	事業費	事業費
県営水質保全対策事業	(R7継続)	5	5,312	533	348	1,722
	(R7新規)	1	364	-	21	343
団体営水質保全対策事業	(R7継続)	2	1,614	250	219	359
	(R7新規)	1	413	-	14	399

（２）地域資源の活用・域内循環の創出による地域活性化

農村集落地域において、集落排水施設、集落道、地域農業活動拠点施設等の整備を進め、地域の住みよい生活環境を確立する。

- ◆ 農村集落基盤再編・整備（交）
- ◆ 農業集落排水整備（交）
- ◆ 農村整備事業

■農村集落基盤再編・整備事業（旧県事業名：村づくり交付金）

農村集落基盤再編・整備事業では、集落周辺の地域における農業生産性の向上を図るため、農業生産基盤の整備と、その機能の発揮に不可欠な集落基盤の整備を一体的に実施する。

東風平西部地区（八重瀬町）



大浜磯辺地区（石垣市）



農村集落基盤再編・整備事業

（単位：地区、百万円）

事業名		全 体			令和6年度	令和7年度	令和8年度以降
		主なメニュー	地区数	事業費	事業費	事業費	事業費
農村集落基盤・再編整備事業	(R7継続)	農道、集落道、集落	2	689	120	159	182
	(R7新規)	防災施設等	-	-	-	-	-

■ 農業集落排水事業

農業集落排水事業では、農村の生活環境の改善、公共用水域の水質保全等に寄与するために、農業集落におけるし尿や生活排水等の汚水・汚泥を処理する施設の整備を進める。

大城地区(南城市)



雄樋川地区(八重瀬町)



農業集落排水事業の実施状況

(単位：地区、百万円)

事業名		全 体		令和6年度	令和7年度	令和8年度以降
		地区数	事業費	事業費	事業費	事業費
農 業 集 落 排 水 事 業	(R7継続)	11	27,939	2,974	2,610	8,572
	(R7新規)	1	1,626	-	-	1,560

■ 農村整備事業

農村インフラ施設の劣化状況を点検し、計画的に老朽化対策や再編・集約の実施に加えて、地域の実情に応じた施設の改良を実施することにより、農村インフラの強靱化・高度化対策を図る。

農村整備事業の実施状況

(単位：地区、百万円)

事業名		全 体		令和6年度	令和7年度	令和8年度以降
		地区数	事業費	事業費	事業費	事業費
農 村 整 備 事 業	(R7継続)	3	2,418	496	420	465
	(R7新規)	-	-	-	-	-

(3) 地域が有する多面的機能の維持・発揮

都市部との交流機会の増大、地域共同活動の支援、地域リーダー育成・確保を行い、農村の活性化を図る。また、農村が有する地域資源の保全・活用を図り多面的機能の維持・発揮に取り組む。

- 事業名
- ◆ ふるさと農村活性化基金事業
 - ◆ 「沖縄、ふるさと百選」認定事業(単)
 - ◆ 多面的機能支払交付金事業(交)
 - ◆ 中山間地域等直接支払事業(交)
 - ◆ 中山間地域所得確保推進事業(交)
 - ◆ グリーン・ツーリズム体制強化促進事業(単)

■ ふるさと農村活性化基金事業

沖縄県中山間地域ふるさと農村活性化基金の運用益等を活用し、地域リーダーの活動支援や人材育成、地域興しのPR活動等、中山間地域の活性化に向けた地域活動を支援するもので、平成6年度から実施している。



小学生の農業体験



伝統文化継承



植樹・育林活動



実践者による実績発表会

令和6年度の事業実施状況

(単位：地区、千円)

事業名	項目	県全域	北部	中部	南部	宮古	八重山
ふるさと農村活性化基金事業	地区数	15	5	1	3	1	5
	事業費	7,656	2,173	409	2,310	713	2,051

■「沖縄、ふるさと百選」認定事業

農山漁村の持つ魅力を県民に広く紹介し、農山漁村に対する理解を進めるために、地域でふるさとづくりに取り組んでいる団体等を「沖縄、ふるさと百選」（県知事認定）として認定する制度であり、平成14年度から実施している。

集落部門

全56地区
(R6年度:認定地区なし)



「和合の拝みと伝統がつなぐ武富のふるさとづくり」 糸満市 糸満市字武富自治会

生産部門

全51地区
(R6年度:1地区認定地区)

交流部門

全32地区
(R6年度:認定地区なし)

認定状況（令和6年度末現在）

（単位：団体）

部門名	県全域	北部	中部	南部	宮古	八重山
生産部門	51	13	10	11	11	6
集落部門	56	13	8	16	11	8
交流部門	32	9	1	7	7	8
合計	139	35	19	34	29	22

■広報活動

農業農村の基盤整備や多面的機能を生かした活性化に向けた諸施策を円滑に推進するためには、地域全体の理解と協力を得ることが必要であり、事業・施策等に関する広報活動を実施している。



広報誌の作成



ウェブサイトによる広報